

協働で子どもを育てる

～「上関町地域協育ネット運営委員会」の取組～ 【上関町 上関中学校区】

地域の概要

上関町は、山口県の東部に位置し、周防灘に向かって突き出た室津半島突端の室津と対岸 200mの上関海峡を隔てた長島と離島の祝島、八島からなります。現在、上関町は上関中学校の一校区（祝島中学校：休校中）のみです。

昭和 44 年に上関大橋の開通により、人々の生活圏が拡大するとともに生活様式にも変化が生じ、近隣市町への通勤が年々増えていっています。町内全域に過疎化の現象が現れ、児童生徒数は減少しています。

上関町では平成 20 年度から、義務教育の 9 年間で上関の子どもを見守り育てていこうという小中一貫教育に取り組んでおり、異校種・異学年の交流や学校行事を合同で行うなど、学校・家庭・地域が連携して、子どもの成長を見守る教育をめざしています。

地域住民、保護者の学校に寄せる期待は大きく、教育活動への支援に積極的で、協力的です。

人 口	3,290 人 (高齢化率 51.06%)	
世 帯 数	1,768 世帯	
対 象 校 び 童 数 及 児 童 数 生 徒 数	上関中学校	54 人
	上関小学校	71 人
	祝島小学校	3 人

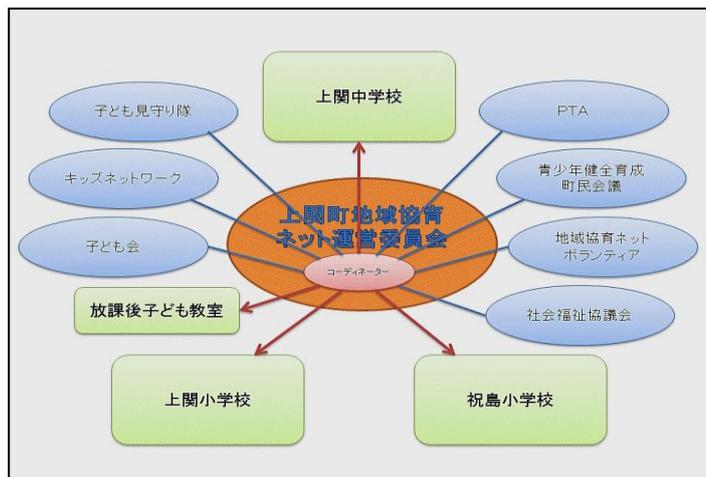
組織の内容

「上関町地域協育ネット運営委員会」は、心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、学校・家庭・地域が相互に連携し、学校や家庭での教育活動への支援及び放課後等における子どもの安全で安心できる居場所づくり（放課後子ども教室）を推進することを目的として設置されました。

運営委員会は、児童、保護者とかかわりの深い放課後子ども教室のコーディネーターが、地域協育ネット運営委員会の統括コーディネーターを兼務し、学校教育関係者をはじめ P T A 関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、放課後子ども教室関係者、地域団体の代表者等から構成されています。

今年度は、学校ごとに登録していた「学校支援ボランティア」を中学校区で活動する「地域協育ネットボランティア」として一本化し、「地域の子どもは、地域で育てる」という意識が町全体に広がるよう取り組みました。

上関町地域協育 ネット運営委員 会の構成	学校教育関係者	3 人
	地域団体関係者	1 人
	P T A 関係者	1 人
	行政関係者	4 人
	放課後子ども教室関係者	2 人
統括コーディネーター		1 人



特色・重点的な取組

本町の子どもたちは、小・中学校ともに小規模のため、人間関係が固定化され、多様な人との交流経験が乏しいのが現状です。本町地域協育ネットはそうした子どもたちと、講師やボランティアとして協力していただける地域の住民や団体との橋渡しを積極的に行っています。それにより子どもたちに対して、様々な人とのふれあいや交流機会の提供、多様な活動による興味・関心の広がりや支援しています。

主な活動の紹介

○学校支援の様子

・ゲストティーチャー

本町は古くから内海航路の要衝で、毛利藩の三関（下関、中関、上関）として知られ、船の往来が多く、朝鮮通信使が幾度も立ち寄った場所です。

小学6年生の社会科の授業では、朝鮮通信使に詳しい地域の方をゲストティーチャーにお招きし、授業をしていただきました。児童たちは本町とかかわりの深い朝鮮通信使についての話を興味深く聞き、郷土の歴史へ関心を高めることができました。



ゲストティーチャー

・「愛・ランド走ろう大会」

中学校と町教委等が協働して実施しています。

駅伝の企画・運営や中継所等の役員を町内の様々な団体が役割分担して実施しています。このように、中学校だけでは難しい行事も地域の方々の協力のお陰で、実施可能となっています。中学生の部の他、一般や小学生・未就学児も出場できる部門もあり、地域ぐるみでこの行事を盛り上げています。大会後は、婦人会が作った豚汁を子ども会のお世話でおいしくいただきました。



「愛・ランド走ろう大会」

○放課後子ども教室の様子

今年度から長期休業中の開設を実施しています。夏季休業中は平日の7:30～18:30に小学校体育館、ほのぼの活性化センター、中央公民館、町民プールなどを借り、計22日間実施しました。開設中は多くの保護者や地域ボランティア、地域団体の方々に御協力をいただきました。講師として来てくださった地域の方々の中には、子どもたちに活動内容の指導だけでなく、礼儀やマナーをはじめ基本的な生活習慣について指導してくださる方もいらっしゃいました。「地域の子どもは、地域で育てる」という思いのもと、放課後子ども教室の活動が地域ぐるみで子どもを育てる活動となっています。

○総合型地域スポーツクラブ（「上関町総合型クラブ」）の様子

準備委員会を何度も開き、設立に向けて体制を整えているところです。今年度はフットサル大会やバーベキュー大会をイベント行事として催し、子どもたちが楽しく参加できました。

成果と課題

長期休業中の放課後子ども教室の開設が実現でき、その活動を行う中で、新たな地域人材や団体の協力を得ることができました。また、そうした方々とのふれあいを通して、子どもたちは様々な部分で人間的に大きく成長できたように思います。今後は、子どもたちが地域に出向き、地域との絆をより強いものにするための活動を計画していきたいとします。

今後の取組

本町地域協育ネットの充実には、人材確保が急務です。人口減少の中、子どもたちの活動について、いかに地域の方々に理解と関心をもってもらえるか、その方法を模索していきたいとします。